

# 良質な黒大豆の安定生産をめざして まず生育目標を決めよう！！

## 【背景・目的・成果】

丹波黒大豆は2L(短径10mm)以上の極大粒が珍重され、高値で取引されています。そのため、多収で2L率が高い栽培法が求められてきました。従来、莢数を確保しすぎると、2L率が減少すると言われてきましたが、適度な生育条件下では、莢数が増加しても百粒重や2L率が低下しないことが判明しました。そこで、実際に現地で2L率70%、10アール当たり250kgを穫った黒大豆の生育の様子を「高品質黒大豆生育指標」として紹介します。

- ・莢数と収量には右肩あがりの関係があります。莢数が多いほど収量が増えます。(図1)
- ・主茎節数と莢数にも同様な関係があります。主茎節数が多いほど莢数が増えます。(図2)
- ・莢数が増えても百粒重は減少せず、2L率(短径10mm以上)は低下しません。(図3、4)

## 2L率70%以上反収250kg穫り生育指標

主茎節数17節、250莢（栽植密度2.0～2.5株/㎡の場合）

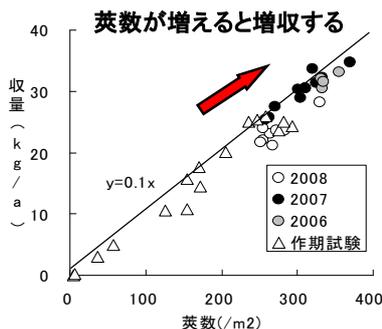


図1 莢数と収量との関係

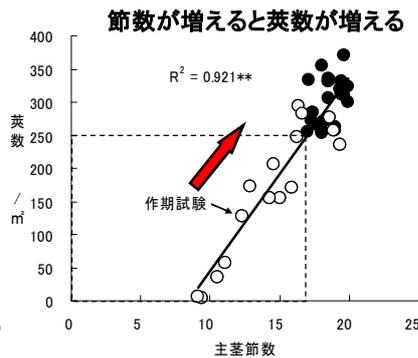


図2 主茎節数と莢数

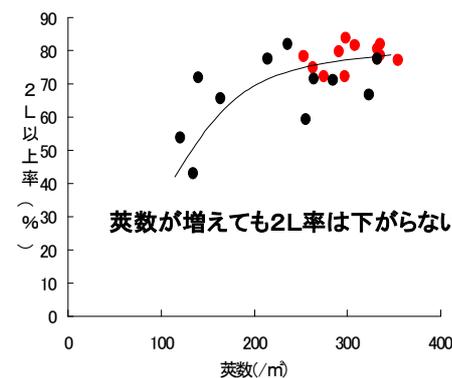


図3 莢数と2L以上率との関係

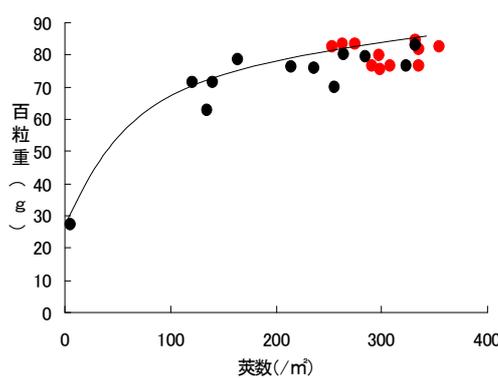


図4 莢数と百粒重との関係

【技術の活用】本指標に基づく丹波黒大豆栽培を、県下全域に普及します。

ほ場で黒大豆の主茎節数、莢数を確認し、それらが生育指標値に満たない場合には、土壌の性質(耕土の深さ、肥沃度、排水性等)や施肥、植え付け間隔など、栽培上の問題点の検討、改善が必要です。

兵庫県立農林水産技術総合センター 北部農業技術センター